Creative Enzymes®

ZAP-70チロシンキナーゼ ヒト、組換え

Cat. No. NATE-0738

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ZAP-70は、T細胞およびナチュラルキラー細胞の細胞質にのみ局在するSykファミリーのタンパク質チロシンキナーゼです。T細胞の活性化に必要です。Lckによるチロシン残基のリン酸化によって活性化されます。ZAP-70チロシンキナーゼはSykファミリーに属するタンパク質であり、T細胞の活性化に不可欠です。活性化誘導T細胞アポトーシスにおけるFasリガンドのアップレギュレーションを促進します。さらに、LFA-1依存性T細胞移動においても重要な役割を果たします。
用途	ヒトZAP-70チロシンキナーゼは、T細胞のシグナル伝達タンパク質の活性化メカニズムを調□するために、LAT（T細胞活性化のためのリンカー）上のリン酸化部位をマッピングするために使用されました。
別名	ZAP-70チロシンキナーゼ; ゼータ鎖関連タンパク質キナーゼ70; ZAP-70; SRK; STCD; STD; TZK; ZAP70

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞（ヒスチジンタグ付き）
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 70 kDa
純度	> 90% (SDS-PAGE)
活性	> 150 U/mg
緩衝液	25 mM HEPES、pH 7.5、150 mM NaCl、0.5 mM DTT、および50%グリセロールを含む溶液。
代謝□路	適□免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; B細胞受容体シグナル伝達□路、特定の生物に特有のバイオシステム; セカンドメッセンジャー分子の生成、特定の生物に特有のバイオシステム; 免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; 炎症反□□路、特定の生物に特有のバイオシステム; ナチュラルキラー細胞媒介の細胞毒性、特定の生物に特有のバイオシステム; ナチュラルキラー細胞媒介の細胞毒性、保存されたバイオシステム
機能	ATP結合; 非膜貫通型タンパク質チロシンキナーゼ活性; ヌクレオチド結合; タンパク質結合; タンパク質チロシンキナーゼ活性; タンパク質チロシンキナーゼ活性; タンパク質チロシンキナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 7.0で1分あたり1nmolのポリグルタミン酸:チロシンをリン酸化します。

保管・発送情報

安定性	−70°C